

## 令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・積極的に発言しようとする生徒が多い。
- ・少人数での話し合いに積極的に取り組む。
- ・ICT 機器を使用する授業内容が増えた。

#### (2) 課題

- ・音楽的理論や楽典的知識の理解度が個人によって差がある。
- ・器楽への取り組みが少ない。
- ・取り扱う音楽の領域に偏りがある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

実施なしのため省略

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
変声期に入った生徒に配慮した指導を心がける。一人でも自信を持って歌唱表現できる力をつけさせる。 リズム読みの練習を充実させ、読譜力をつける。	楽曲に対するイメージを持たせ、ICT を適宜使用しながらクラス全体で意見を共有し、深い学びにつなげる。	子どもの意欲を引き出す課題の設定。 「何のために」という目的感と、課題ごとの目標を明確にする。

#### (2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
リズム読みの練習を充実させ、読譜力をつける。 豊かな響きを作るために自ら持っている音色に気づかせ、伸ばしていく発声法に留意する。	楽曲に対するイメージを持たせ、ICT を適宜使用しながらクラス全体で意見を共有し、深い学びにつなげる。 楽器の音色や役割、曲の構成など関連づけて指導する。	子どもの意欲を引き出す課題の設定。 「何のために」という目的感と、課題ごとの目標を明確にする。

#### (3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽曲の構成や各パートの役割等も考えながら、全体の響きを味わって表現出来る力を養わせる。 世界の多様な音楽の理解と日本の音楽についての理解を深め、優れた演奏を多く聴く機会をもつ。	楽曲に対するイメージを持たせ、ICT を適宜使用しながらクラス全体で意見を共有し、深い学びにつなげる。 楽曲に対するイメージを表現するために、具体的な方法を考えさせる。アプローチの仕方についても工夫させる。	「何のために」という目的感と、課題ごとの目標を明確にする。 最高学年として学校全体の歌声をリードする自覚をもたせ、主体的、計画的な取り組みをさせる。

